

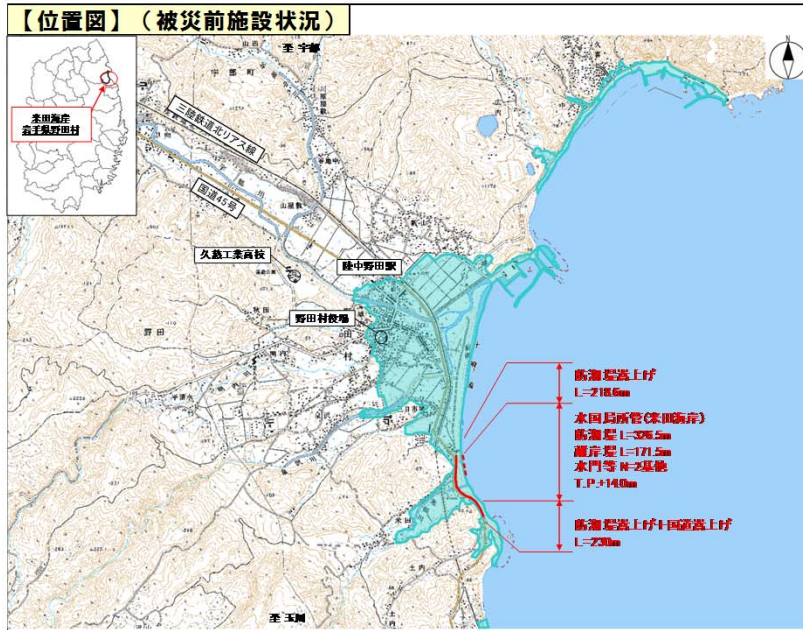
環境・景観配慮の取組み状況について

県民みんなで 力を合わせ 希望に向かって 一歩ずつ

がんばろう！岩手

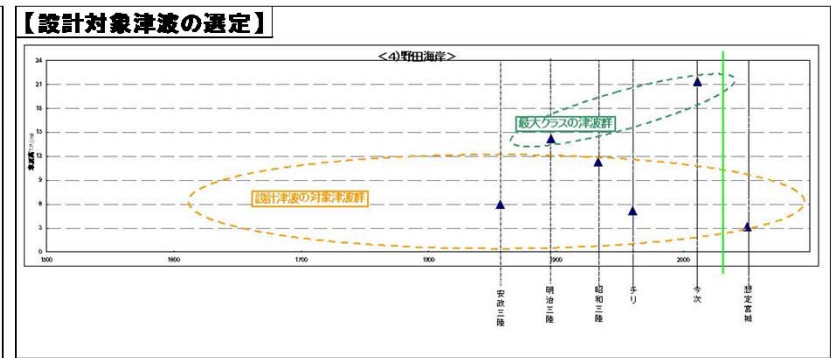
平成27年9月25日（金）

1. 米田地区海岸（野田村）



【計画堤防高の設定】

- H23.7.8付海岸関係省庁通知に基づき、以下の手順で計画堤防高を設定した。
 - ① 過去に発生した津波の中から設計対象津波を選定。
 - ② せり上がりを考慮した津波の水位を算出し、設計津波の水位を算定。
 - ③ 余裕高1.0mを加えた高さを新計画堤防高として設定。
- 「岩手県津波防災技術専門委員会」での審議を経て、米田海岸では新計画堤防高をT.P.+14.0mと設定し、既設防潮堤の高上げと防潮堤の新設を行う方針。



【計画堤防高の設定】

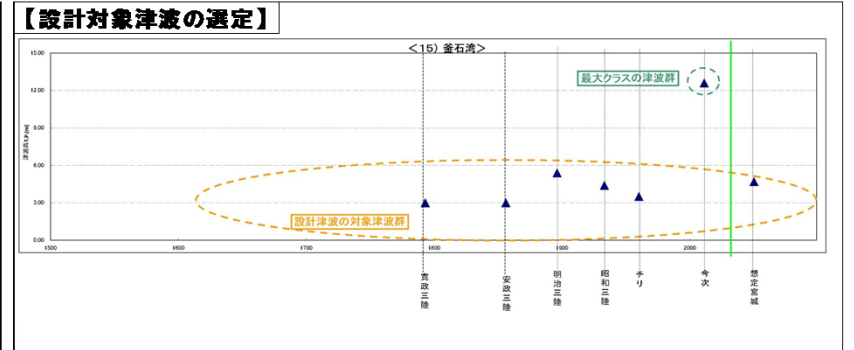
単位:m(T.P.)

地域海岸名	今次津波 最新高	設計津波		設計津波の 水位による 堤防高設定	【設計津波の水位に よる堤防高設定】> 【被災前計画高】の チェック	地域海岸内 堤防高	被災前 計画堤防高
		対象津波	設計津波の 水位				
野田湾	21.4	昭和三陸地震	13.0	14.0	○	14.0	12.0

3. 釜石港海岸(須賀地区) (釜石市)



- 【計画堤防高の設定】
- H23.7.8付海岸関係省庁通知に基づき、以下の手順で計画堤防高を設定した。
 - ①過去に発生した津波の中から設計対象津波を選定。
 - ②せり上がりを考慮した津波の水位を算出し、設計津波の水位を算定。
 - ③余裕高1.0mを加えた高さを新計画堤防高として設定。
 - 「岩手県津波防災技術専門委員会」での審議を経て、釜石港海岸では新計画堤防高をT.P.+6.1mと設定し、既設防潮堤を嵩上げ復旧する方針。



【計画堤防高の設定】

地域海坪名	今次津波 観測高	設計津波		設計津波の 水位による 堤防高設定	【設計津波の水位に よる堤防高設定】> 【被災前計画高】の チェック	地域海坪内 堤防高	被災前 計画堤防高
		対象津波	設計津波の 水位				
釜石湾	10.1	明治三陸地震	4.8	5.8	被災前計画 1にて決定	6.1	4.0~6.1

単位:m(T.P.)

3. 釜石港海岸（須賀地区）（釜石市）

当該海岸は、釜石市の市街地近傍に位置し、観光ホテルや国道45号からも眺望可能な位置にあたる。

景観への配慮 その1【堤防線形】

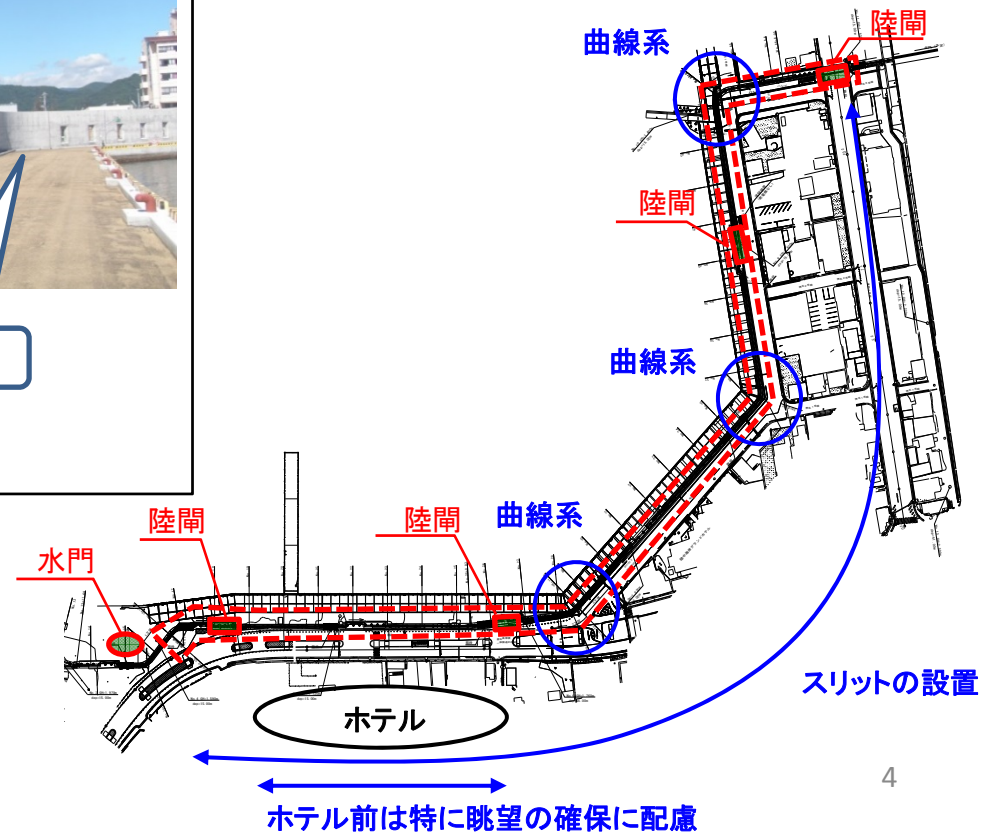
- 堤防法線は、急激な変化は避け、**地形に馴染んだ法線**とする。
- 法線の**隅角部は緩やかな曲線系**とすることにより、周辺地形との調和、コンクリート構造物の堅いイメージを低減。



隅角部を曲線系に



隅角部を曲線系に



3. 釜石港海岸（須賀地区）（釜石市）

当該海岸は、釜石市の市街地近傍に位置し、観光ホテルや国道45号からも眺望可能な位置にあたる。

景観への配慮 その2【堤防線形】

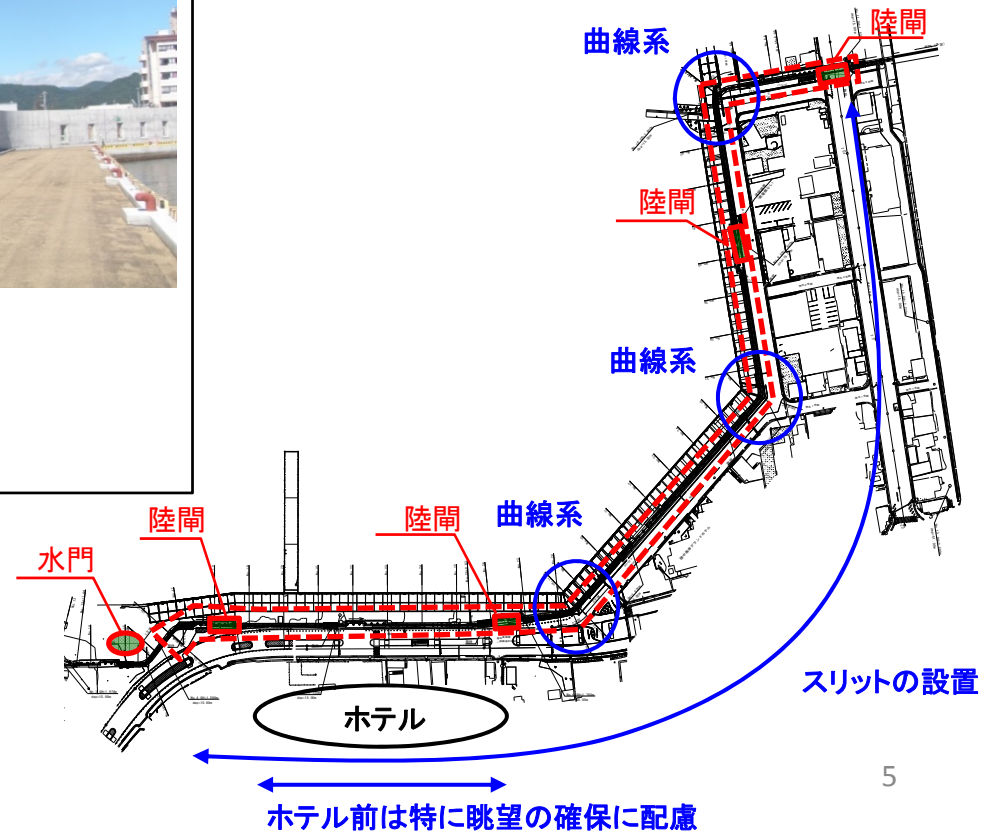
■ スリット窓を設置し、堤防の連続的な見えを分節。また、歩行者、車両及びホテル利用者からの海への眺望を確保、閉塞感や圧迫感を低減。



スリット窓を設置

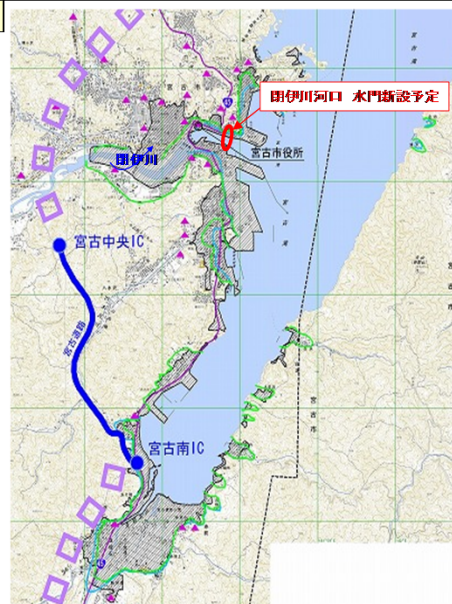


スリット窓を設置



3. 閉伊川（宮古市）

【位置図】（被災前施設状況）



【被災前後比較航空写真】



被災前状況 H22.3.9 撮影



被災後状況 H23.3.28 撮影

【計画堤防高の設定】

- H23.7.8付海岸関係省庁通知に基づき、以下の手順で計画堤防高を設定した。
 - ①過去に発生した津波の中から設計対象津波を選定。
 - ②せり上がりを考慮した津波の水位を算出し、設計津波の水位を算定。
 - ③余裕高1.0mを加えた高さを新計画堤防高として設定。
- 「岩手県津波防災技術専門委員会」での審議を経て、閉伊川では新計画堤防高をTP.+10.4mと設定し、水門を新設する方針。

【被災状況写真】

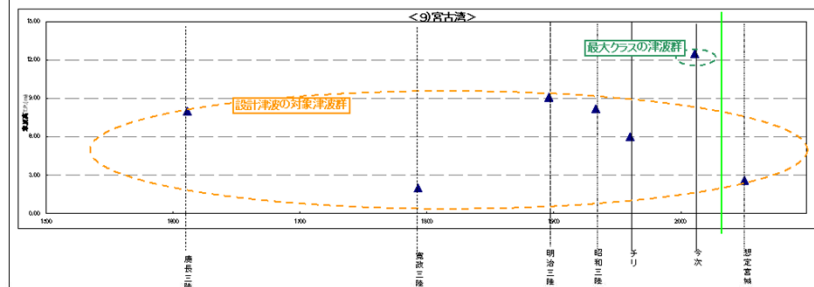
閉伊川潮防施設状況（宮古大瀨直下流）



閉伊川左岸河口部被災状況



【設計対象津波の選定】



【計画堤防高の設定】

地域海岸名	今更沖波 浪高	設計津波		設計津波の 水位による 堤防高設定	【設計津波の水位に よる堤防高設定】> 【被災前計画高】の チェック	地域海岸内 堤防高	被災前 計画堤防高
		対象津波	設計津波の 水位				
宮古湾	11.8	明治三陸津波	9.4	10.4	○	10.4	8.0~8.5

単位: m(TP.)

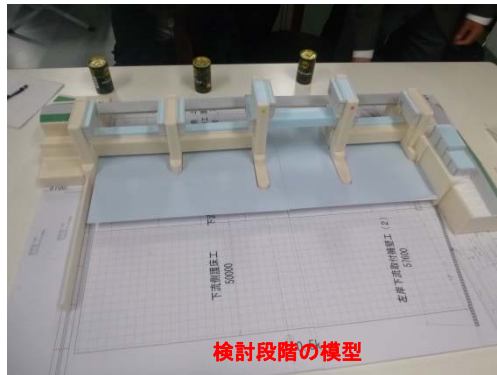
3. 閉伊川（宮古市）

当該水門は、宮古市の市街地近傍に位置し、観光ホテルや国道45号からも眺望可能な位置にあたる。また、当該水門には船の往来のための航路用のゲートが設けられる予定。

景観への配慮

当該水門の性格（市街地近傍に位置、大規模構造物、航路水門（二段ゲート））を踏まえ、下記を基本的なコンセプトとして景観への配慮を検討しているところ。

- **シンプルな形状。**
- **周辺環境や堤防等と調和した形式。**
- 操作室（上屋）の不安定な印象を軽減し、**門柱との一体感や安定感のあるデザイン。**



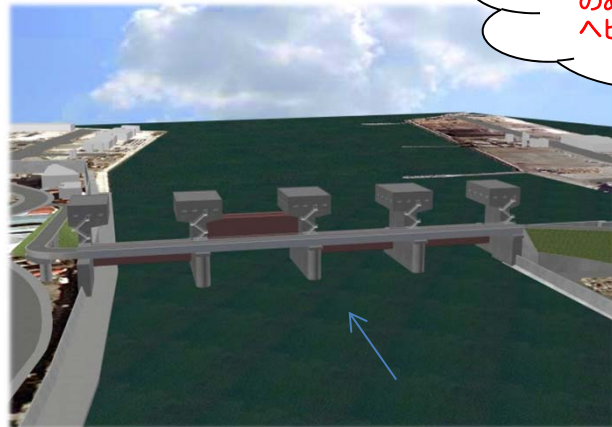
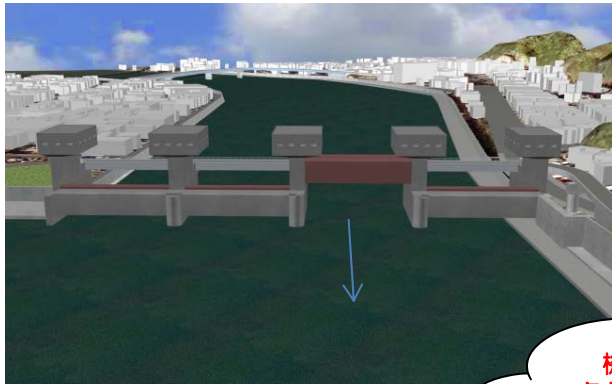
3. 閉伊川（宮古市）

景観への配慮

当該水門の性格（市街地近傍に位置、大規模構造物、航路水門（二段ゲート））を踏まえ、下記を基本的なコンセプトとして景観への配慮を検討しているところ。

- **シンプルな形状。**
- **周辺環境や堤防等と調和した形式。**
- 操作室（上屋）の不安定な印象を軽減し、**門柱との一体感や安定感のあるデザイン。**

<当初計画>



<変更計画(案)>



機器配置を変更し、上屋をコンパクトにし、門柱との一体感や安定感のあるデザインとすることでトップヘビーなイメージを緩和

